

地盤改良に木材を！ 環境パイルは木材利用ポイントの対象です！

地震や豪雨などによる、液状化や不同沈下による住宅への被害を防ぐために、住宅建設着工前に、地盤調査を行い、地盤改良を行うことが多くなりました。従来はセメント系固形剤を使用した表層改良工法や柱状改良工法、鋼管柱やコンクリート柱を使用した杭工法が採用されています。特に、最近ではコスト的には安い砕石パイルが多く採用されていますが、これは強度計算に不確実な面もあるようです。

木杭は昔から、松が多く使われ、東京・丸ノ内界

隈では古いビルを解体するたびに、地中より掘り出され、その耐久性と安全性は確認されています。鹿児島でも五大石橋をおよそ 160 年もの間支えていたのも松の梯子胴木でした。このように昔から木杭は使われていたにも拘らず、昭和 30 年代の住宅建設急増時代に木材不足への対応施策としてコンクリートパイル等の人工杭が増えてきたのです。

国産材の利用拡大を叫ばれるようになり、木材利用促進法等も施行され、CO₂削減等の環境保全等の観点から木杭が見直されるようになりました。

環境パイルは JAS で「腐れにくい樹種」と規定する D1 樹種（杉・桧・カラマツ等）に防腐防蟻処理 K4（AQ1 種 通常より激しい腐朽・蟻害の恐れのある条件下で高度の耐久性の期待できる処理…屋外製品部材）した木材を使用しています。この保存薬剤は動物や水棲生物に対する安全性も確認されています。また、施工に於いては、事前のスウェーデン式サウンディング試験のデータを基に、等径に加工された丸棒を垂直に圧入していきます。圧入の為、振動が無く、圧力管理により目標の深さまで圧入し、先端支持力と周面摩擦力の相乗効果により強度を確保します。また、この施工法は木材を利用した地盤補強工法として（財）日本建築総合試験場の建築技術性能証明書を取得しています。さらに、株GIRによる10年間の地盤保障もできます。

全国規模の大手ハウスメーカーも環境パイル工法による地盤改良と地盤保障を採用し始めています。興味をお持ちの方は当社へお問い合わせください。

【情報】

第 8 回 甲突川源流ウォークが開催されます。

甲突川の源流と棚田を歩いてみませんか

日時 8 月 4 日（日） AM10:00～PM3:00

場所 かごしま子ども文化の里（Tel.099-245-6171）

参加費 500 円 （バス代・保険料・他）

【定休日】

8 月は 4, 11, 12, 13, 14, 15, 18, 24, 25, 31 日となります

9 月は 1, 8, 14, 15, 22, 28, 29 日となります

宜しくお願いします。



甲突川上流源流ウォーク